

銚子市 名洗港海岸

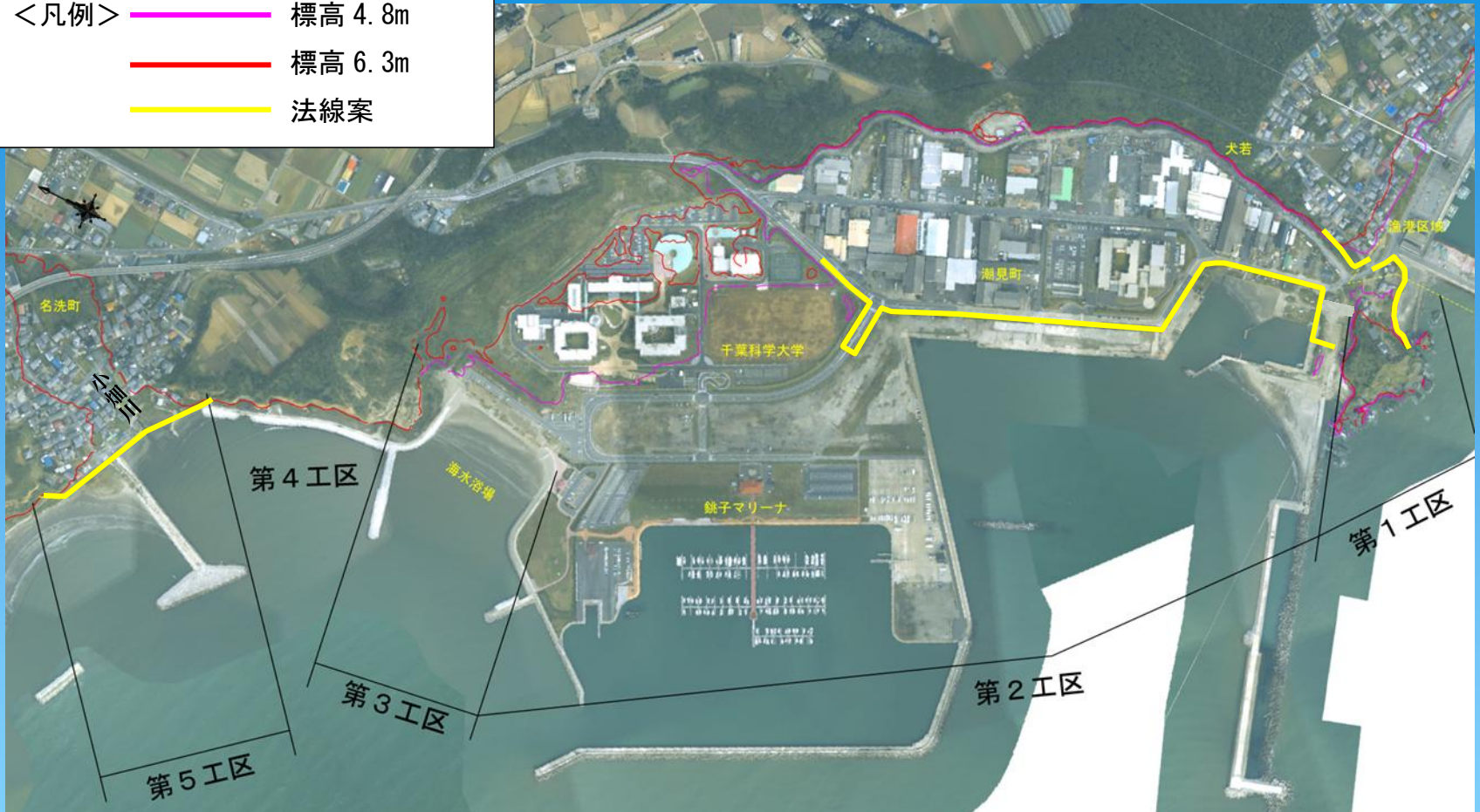
海岸づくり会議

住民会議

平成27年12月13日

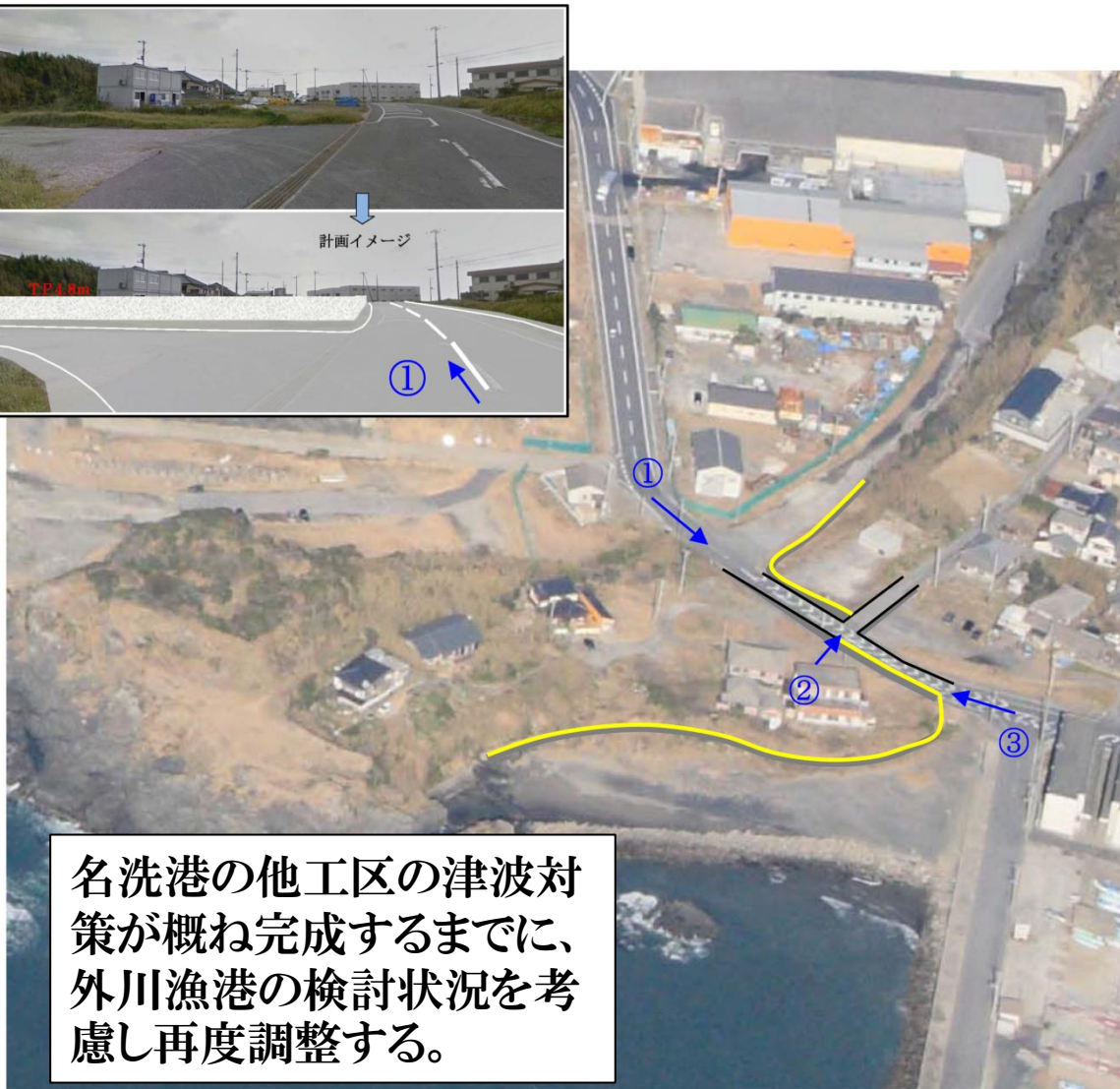
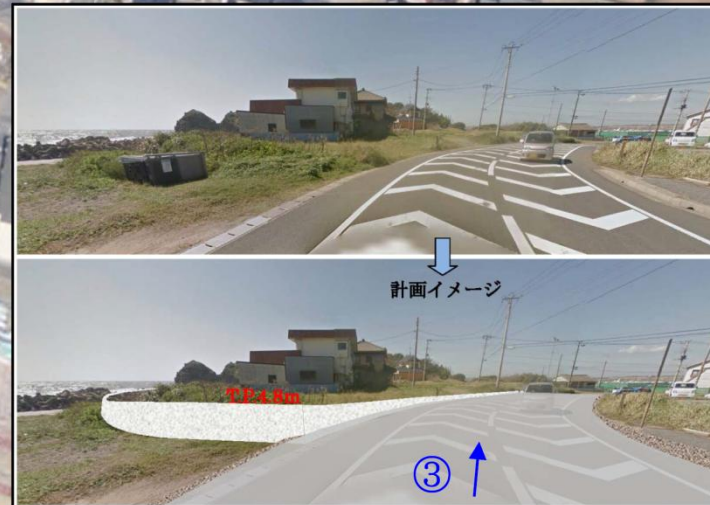
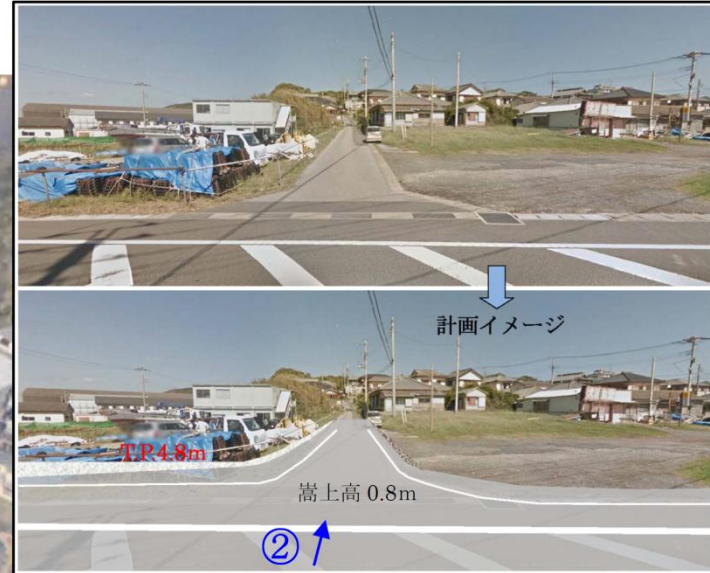
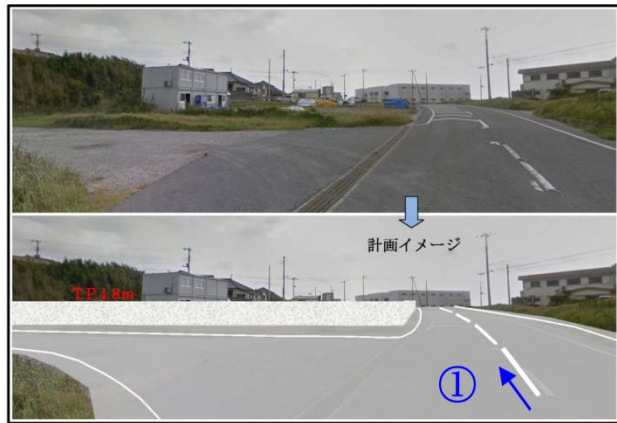
■ 名洗港(銚子マリーナ・名洗町) (対策施設法線案)

- <凡例>
- 標高 4.8m
 - 標高 6.3m
 - 法線案



	5工区	4工区／3工区	2工区	1工区
法線案の概要	既設構造物法線上を基本とし、小畑川河口両岸の既設堤防を結ぶ線上に配置する。	避難誘導対応とする。 (住宅等が存在しない為、対応施設を設置しない)	水際の利用を考慮し、潮見町臨港道路海側に配置し、千葉科学大学の体育館通用門方面に擦り付ける。	現況堤防と道路の嵩上げを計画したが、今後、外川漁港の検討時に再度調整する。

■ 名洗港海岸(1工区) (対策施設法線案)



名洗港の他工区の津波対策が概ね完成するまでに、外川漁港の検討状況を考慮し再度調整する。

■ 名洗港海岸 (2工区) (対策施設法線案)

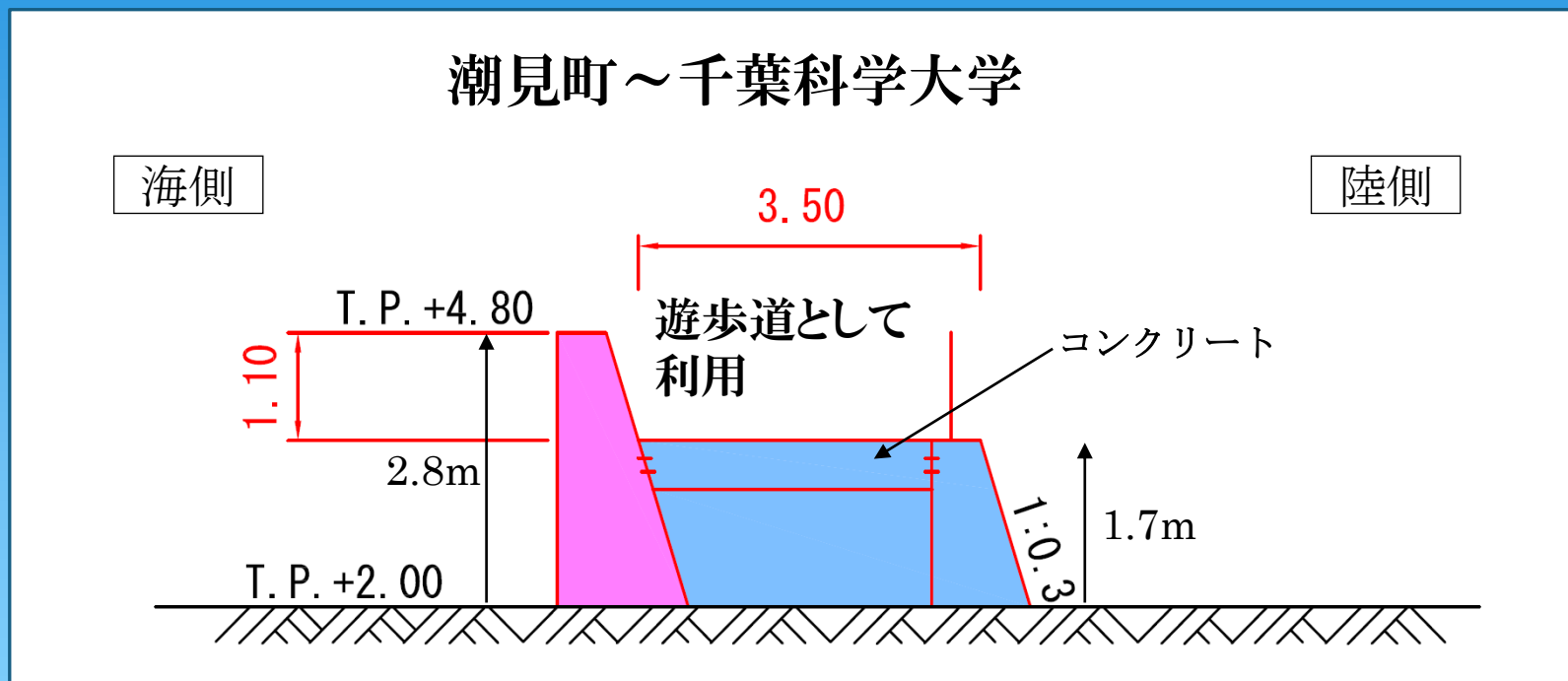
— 対策法線案の選定 —

千葉科学大及び銚子マリーナエリアの景観維持、銚子マリーナの利便性を考慮

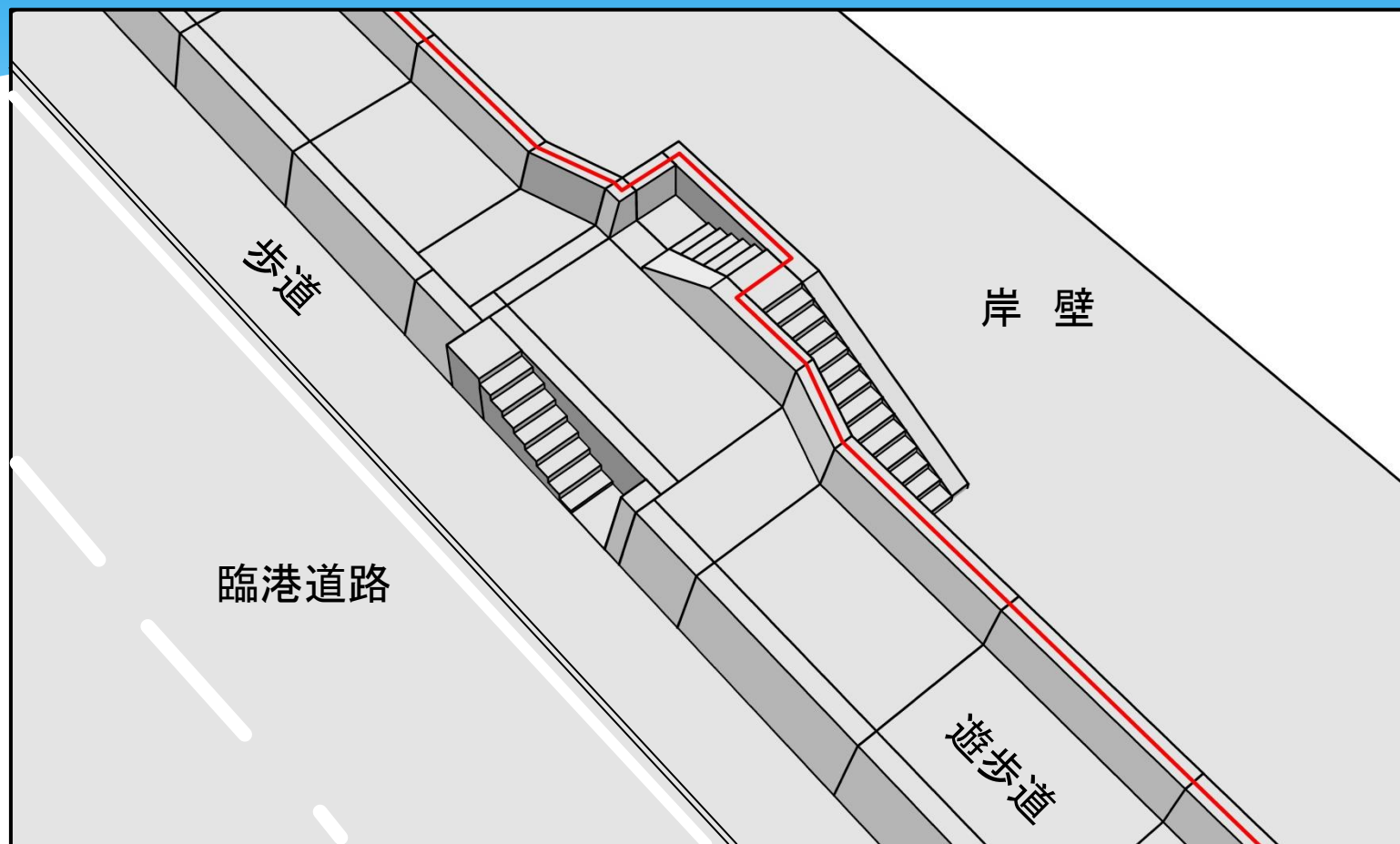


■ 名洗港海岸(2工区)(対策施設代表断面案)

胸壁設置(地盤高さT.P. 2.0⇒4.8m、壁高2.8m)

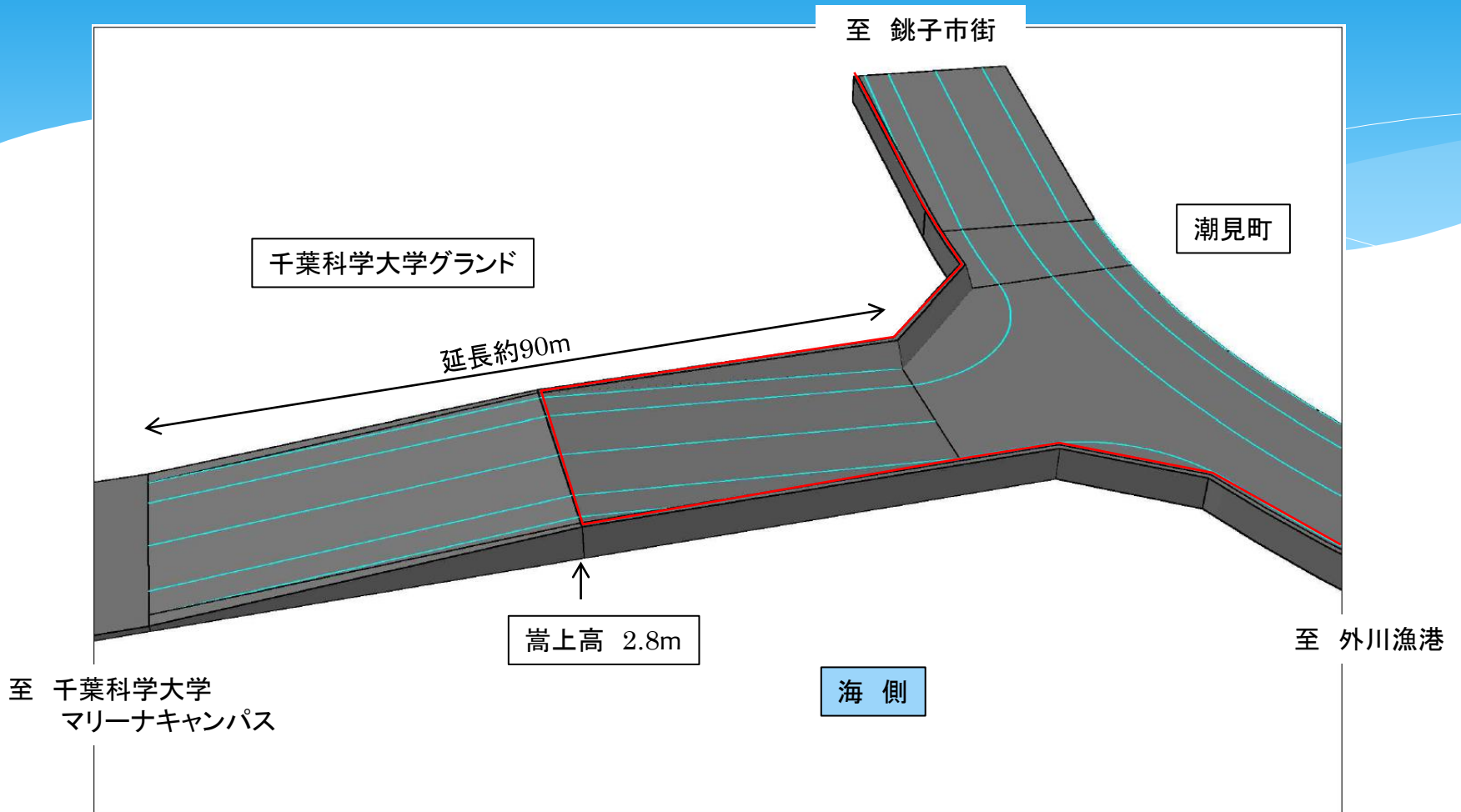


■ 名洗港海岸（2工区）（乗越し階段設置イメージ）



— 防護ライン (T.P.4.8mの高さを確保)

■ 名洗港海岸（2工区）（乗越し車路設置イメージ）



— 防護ライン (T.P.4.8mの高さを確保)

■名洗港海岸(5-1工区)小畑川開口部(対策施設法線案)

—対策法線案の選定—

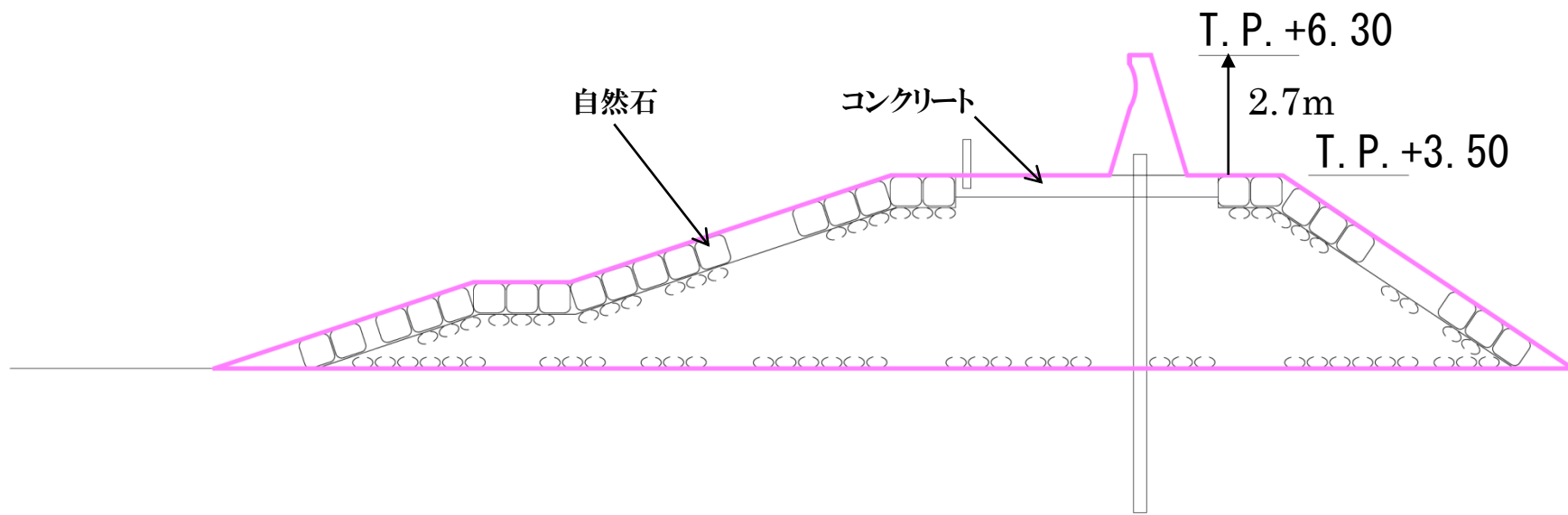
津波に対する災害リスクの低減と現況遊歩道の利便性を考慮



■名洗港海岸(5-1工区)小畑川開口部(対策施設断面案) 堤防新設(6.3m)

海側

陸側

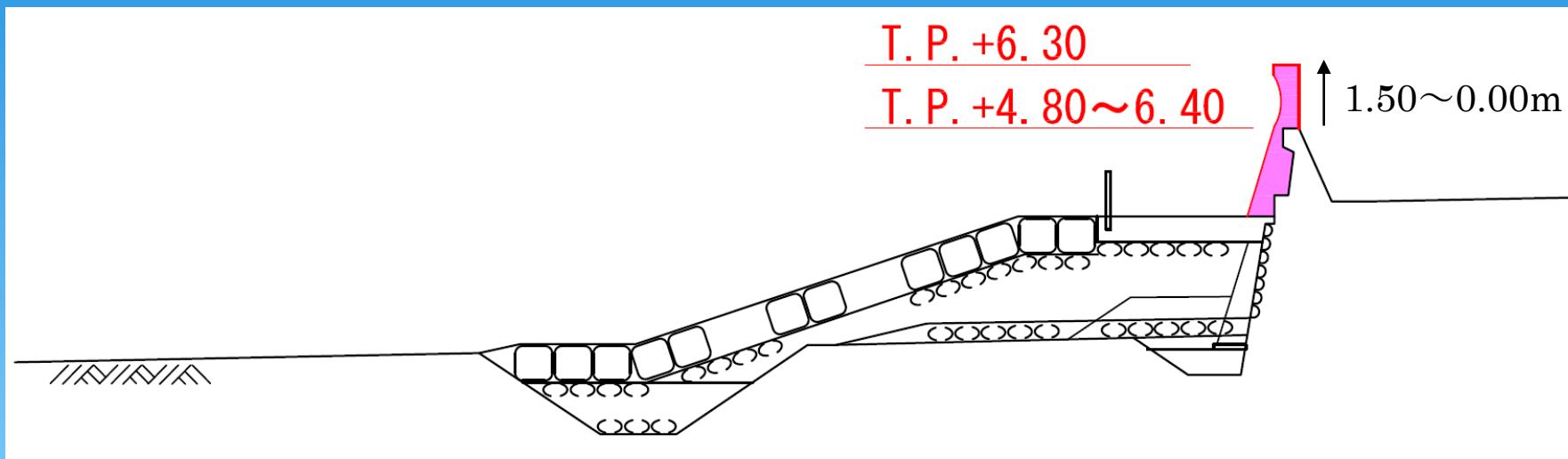


名洗港海岸(5-2工区)名洗町(対策施設断面案)

既設構造物嵩上げ(T.P. 4.8~6.4 ⇒ 6.3m)

海側

陸側



© 2015 ZENRIN

Google earth